
平成23年度

地方公共団体金融機構決算の概要

地方公共団体金融機構

平成23年度決算のポイント

- ◆ 経常利益は2,300億円。特別利益(準備金・積立金取崩し)2,326億円、特別損失(準備金繰入れ)4,410億円を計上したため、純利益は216億円。
- ◆ 資産総額は貸付金等23兆3,407億円、負債総額は債券等23兆2,470億円、純資産総額は出資金等936億円を計上。
- ◆ 地方公共団体健全化基金は9,198億円、金利変動準備金は8,800億円、公庫債権金利変動準備金は3兆1,375億円を計上。
- ◆ 会計処理等は、原則として企業会計原則による。なお、地方公共団体健全化基金、金利変動準備金等の機構特有の財務基盤に係る会計処理については、関係法令の規定等による。

利益の状況 [機構全体]

- ◆ 平成23年度の**経常利益は2,300億円**で、平成22年度より175億円減少。
- ◆ 経常費用が債券利息の減少等により106億円減少した一方、経常収益が貸付金利息の減少等により281億円減少したことが要因。
- ◆ 公庫債権金利変動準備金繰入額(特別損失)が244億円減少したこと等もあり、**純利益は216億円**で、平成22年度より55億円増加。

【平成22年度決算】

経常収益	5,399億円
貸付金利息	5,358億円
余資運用益	12億円
その他の	29億円
経常費用	2,924億円
債券利息	2,828億円
その他の	96億円
経常利益	2,475億円
特別利益	2,339億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	2,200億円
利差補てん積立金取崩額	139億円
特別損失	4,654億円
金利変動準備金繰入額	2,200億円
公庫債権金利変動準備金繰入額	2,454億円
純利益	160億円

経常利益は
175億円減少



純利益は
55億円増加

【平成23年度決算】

経常収益	5,118億円	(▲281億円)
貸付金利息	5,084億円	(▲274億円)
余資運用益	10億円	(▲1億円)
その他の	22億円	(▲6億円)
経常費用	2,817億円	(▲106億円)
債券利息	2,738億円	(▲90億円)
その他の	79億円	(▲16億円)
経常利益	2,300億円	(▲175億円)
特別利益	2,326億円	(▲13億円)
公庫債権金利変動準備金取崩額	2,200億円	(-)
利差補てん積立金取崩額	126億円	(▲13億円)
特別損失	4,410億円	(▲244億円)
金利変動準備金繰入額	2,200億円	(-)
公庫債権金利変動準備金繰入額	2,210億円	(▲244億円)
純利益	216億円	(55億円)



利益の状況 [一般勘定]

- ◆ 平成23年度の一般勘定における**経常利益及び純利益は155億円**で、平成22年度より75億円増加。
- ◆ 貸付金利息は263億円増加。一方、債券利息は170億円の増加に止まり、93億円の増益要因となった。
- ◆ 基金組入額が19億円減少したが、基金関連の勘定間取引を含め、基金関係全般では2億円の減益要因が生じた。
- ◆ このほか、スワップ関連で10億円の減益要因が生じた。

【平成22年度決算】

経常収益	620億円
貸付金利息	413億円
余資運用益	12億円
金利スワップ受入利息	25億円
その他※1	168億円
経常費用	540億円
債券利息	296億円
借入金利息	一億円
金利スワップ支払利息	一億円
その他業務費用	23億円
営業経費	22億円
健全化基金組入額	21億円
その他※2	176億円
経常利益	80億円
特別利益	2,200億円
管理勘定繰入金	2,200億円
特別損失	2,200億円
金利変動準備金繰入額	2,200億円
純利益	80億円

経常利益は
75億円増加



純利益は
75億円増加

【平成23年度決算】

経常収益	830億円	(210億円)
貸付金利息	677億円	(263億円)
余資運用益	10億円	(▲1億円)
金利スワップ受入利息	17億円	(▲8億円)
その他※1	125億円	(▲43億円)
経常費用	675億円	(135億円)
債券利息	466億円	(170億円)
借入金利息	0億円	(皆増)
金利スワップ支払利息	2億円	(皆増)
その他業務費用	25億円	(2億円)
営業経費	22億円	(0億円)
健全化基金組入額	2億円	(▲19億円)
その他※2	156億円	(▲19億円)
経常利益	155億円	(75億円)
特別利益	2,200億円	(-)
管理勘定繰入金	2,200億円	(-)
特別損失	2,200億円	(-)
金利変動準備金繰入額	2,200億円	(-)
純利益	155億円	(75億円)

※1 うち、健全化基金受取利息について、H22決算は157億円、H23決算は114億円。
 ※2 うち、健全化基金管理勘定繰出金について、H22決算は169億円、H23決算は149億円。

利益の状況 [管理勘定]

- ◆ 平成23年度の**経常利益**は**2,145億円**で、平成22年度より250億円減少。
- ◆ 債券利息は260億円減少。一方、貸付金利息は537億円の減少となり、277億円の減益要因となった。
- ◆ 基金関係では、基金関連の勘定間取引により22億円の増益要因となった。
- ◆ **純利益**は**61億円**で、平成22年度より19億円減少。
- ◆ 利差補てん積立金取崩額(特別利益)が13億円の減少となり、同額の減益要因となった。
- ◆ 準備金関係では、公庫債権金利変動準備金繰入額(特別損失)が244億円の減少となり、同額の増益要因となった。

【平成22年度決算】

経常収益	5,122億円
貸付金利息	4,944億円
その他の ^{※1}	177億円
経常費用	2,727億円
債券利息	2,531億円
その他の ^{※2}	195億円
経常利益	2,395億円
特別利益	2,339億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	2,200億円
利差補てん積立金取崩額	139億円
特別損失	4,654億円
公庫債権金利変動準備金繰入額	2,454億円
一般勘定繰出金	2,200億円
純利益	80億円

経常利益は
250億円減少

純利益は
19億円減少

【平成23年度決算】

経常収益	4,566億円	(▲555億円)
貸付金利息	4,406億円	(▲537億円)
その他の ^{※1}	160億円	(▲17億円)
経常費用	2,421億円	(▲305億円)
債券利息	2,271億円	(▲260億円)
その他の ^{※2}	150億円	(▲45億円)
経常利益	2,145億円	(▲250億円)
特別利益	2,326億円	(▲13億円)
公庫債権金利変動準備金取崩額	2,200億円	(-)
利差補てん積立金取崩額	126億円	(▲13億円)
特別損失	4,410億円	(▲244億円)
公庫債権金利変動準備金繰入額	2,210億円	(▲244億円)
一般勘定繰出金	2,200億円	(-)
純利益	61億円	(▲19億円)

※1 うち、健全化基金一般勘定繰入金について、H22決算は169億円、H23決算は149億円。

※2 うち、健全化基金支払利息について、H22決算は157億円、H23決算は114億円。

資産の状況

- ◆ 平成23年度末現在の**資産総額は23兆3,407億円**で、平成22年度末現在より1,139億円増加。
- ◆ 現金預け金が3,443億円減少したものの、貸付金、有価証券がそれぞれ1,555億円及び3,053億円増加したこと等が要因。

【平成23年3月31日現在】

貸付金	22兆2,318億円
有価証券	4,575億円
現金預け金	5,166億円
その他資産	170億円
有形固定資産	29億円
無形固定資産	7億円
合計	23兆2,267億円

【平成24年3月31日現在】

貸付金	22兆3,874億円
有価証券	7,629億円
現金預け金	1,722億円
その他資産	148億円
有形固定資産	25億円
無形固定資産	6億円
合計	23兆3,407億円

(増減)



資産総額は
1,139億円増加

(1,555億円)
(3,053億円)
(▲3,443億円)
(▲21億円)
(▲3億円)
(▲1億円)
(1,139億円)

※ 有価証券・現金預け金の合計 9,742億円

※ 有価証券・現金預け金の合計 9,352億円

負債の状況

- ◆ 平成23年度末現在の**負債総額は23兆2,470億円**で、平成22年度末現在より896億円増加。
- ◆ 負債の大半を占める債券は1,504億円減少したが、金利変動準備金及び公庫債権金利変動準備金の合計額が2,210億円増加したこと、300億円の長期借入を実施したこと等が要因。

【平成23年3月31日現在】

債	券	18兆3,271億円									
借	入	金 一億円									
地	方	公	共	団	体	健	全	化	基	金	9,158億円
金	利	変	動	準	備	金	6,600億円				
公	庫	債	権	金	利	変	動	準	備	金	3兆1,365億円
利	差	補	て	ん	積	立	金	998億円			
そ	の	他	179億円								
合計		23兆1,574億円									



負債総額は
896億円増加

【平成24年3月31日現在】

債	券	18兆1,766億円	(▲1,504億円)									
借	入	金	300億円	(皆増)								
地	方	公	共	団	体	健	全	化	基	金	9,198億円	(40億円)
金	利	変	動	準	備	金	8,800億円	(2,200億円)				
公	庫	債	権	金	利	変	動	準	備	金	3兆1,375億円	(10億円)
利	差	補	て	ん	積	立	金	872億円	(▲126億円)			
そ	の	他	155億円	(▲23億円)								
合計		23兆2,470億円	(896億円)									

純資産の状況

- ◆ 平成23年度末現在の純資産総額は936億円で、平成22年度末現在より243億円増加。
- ◆ 平成23年度における一般勘定の純利益155億円、管理勘定の純利益61億円を各々の積立金として計上したほか、金利スワップ取引に係る評価益(期中解約分8億円、現存スワップ時価評価分2億円)等である繰延ヘッジ損益が26億円増加したことが要因。

【平成23年3月31日現在】

地方公共団体出資金	166億円
一般勘定積立金	138億円
管理勘定利益積立金	475億円
繰延ヘッジ損益	△86億円
{ うち金利スワップ期中解約分 △72億円 現存スワップ時価評価分 △10億円 }	

合計 693億円



純資産総額は
243億円増加

【平成24年3月31日現在】

地方公共団体出資金	166億円
一般勘定積立金	293億円
管理勘定利益積立金	536億円
繰延ヘッジ損益	△59億円
{ うち金利スワップ期中解約分 8億円 現存スワップ時価評価分 2億円 }	

合計 936億円

(増減)
(-)
(155億円)
(61億円)
(26億円)
(243億円)

(参考) 平成23年度決算における主要勘定の状況

(単位:億円)

【貸付金】

前期末 残高 ①	貸付額 ②	回収額 ③	期末残高 ①+②-③
222,318	18,041	16,485	223,874

【債券】

前期末 残高 ①	発行額 ②	償還額等 ③	期末残高 ①+②-③
183,271	20,218	21,723	181,766

【地方公共団体健全化基金】

前期末 残高 ①	納付金等 ②	基金 運用益 ③	利下げ補て ん所要額 ④	期末残高 ①+②+③-④
9,158	38	192	190	9,198

【利差補てん積立金】

前期末 残高 ①	取崩額 ②	期末残高 ①-②
998	126	872

【金利変動準備金・公庫債権金利変動準備金】

	前期末残高 ①	年次繰入れ ②	公庫貸付に係る 利下げ所要額 ③	公営企業 債券借換益 ④	期末残高 ①+②+③+④
金利変動準備金	6,600	2,200	-	-	8,800
公庫債権金利変動準備金	31,365	△2,200	149	2,060	31,375